

久米禪師、石川郎女を婿ふ時の歌五首

九六番

みこも刈るか 信濃しなぬの真弓まゆみ 我が引ひかば うま人ひとさ  
びて 否いなと言いはむかも

九七番

みこも刈かる 信濃しなぬの真弓まゆみ 引ひかずして 強しひざる  
わざを 知しるといはなくに

九八番

梓弓あづさゆみ 引ひかばまにまに 寄よらめども 後のちの心こころを  
知しりかてぬかも

九九番

梓弓あづさゆみ 弦緒つらをと取りはけ 引ひく人は 後のちの心こころを 知し  
る人ひとそ引ひく

一〇〇番

東人あづまとの 荷前のさきの箱はこの 荷にの緒をにも 妹いもは心こころに 乗の  
りにけるかも